

2018年度明治大学寄付講座

東日本震災・原発事故と復興支援 ～被災地のいま～

2018年5月29日（火）

自治労福島県本部

書記長 澤田 精一

（自治労南相馬市役所職員労働組合）

はじめに . . . 自己紹介

生まれ：1967年8月 南相馬市（旧原町市）

仕事歴：1990年 原町市役所入職 教育委員会体育振興課国体係

税務課資産税係

用地住宅課用地係

農政課農業振興課係

産業課農政係

農業委員会次長（震災時）

放射線対策課農地除染係長

農地除染課係長（2014年4月 休職）

組合歴：2002年 自治労福島県本部中央執行委員（休職2年間）

2004年 原町市職労執行委員長・南相馬市職労委員長（計5年間）

2009年 相双地域連合・原町地区連合議長（4年間）

2013年 連合福島副事務局長（3年間 休職3年間）

2016年 自治労福島県本部書記長（2年目 休職中）

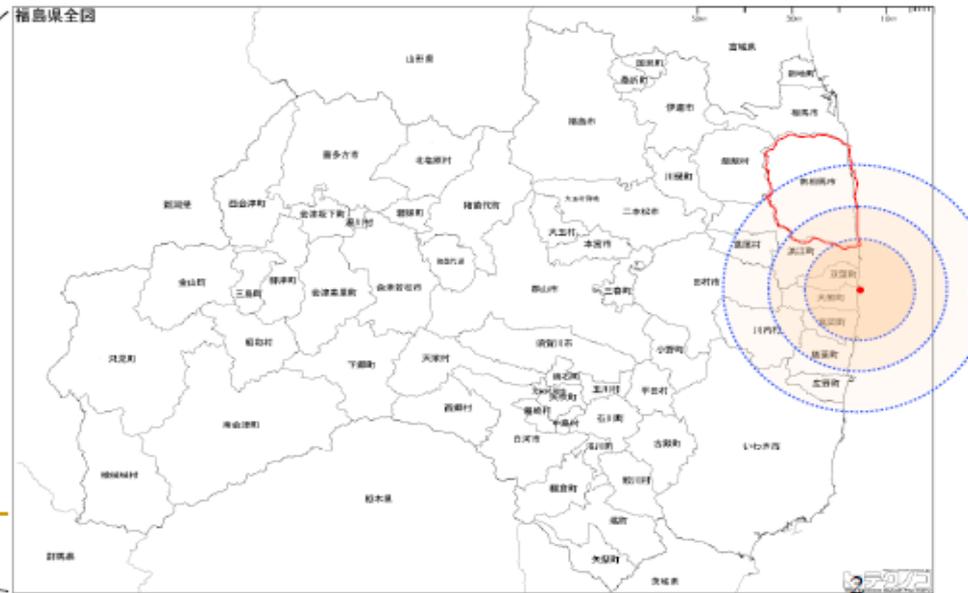
南相馬市について

人口・・・60,980人（住民基本台帳平成30年3月31日）
 面積・・・398.5km²（約55%が山林）
 産業・・・主要産業は農業、その他工業、製造業
 文化・・・相馬野馬追

震災時の平成23年3月11日現在では71,561人
 平成27年国勢調査を基に異動人数を加減した現住人口は
 平成30年4月1日現在54,714人

- 平成18年1月1日に鹿島町、原町市、小高町の合併により誕生
- いわき市と仙台市の間に位置する浜通りの中核都市

Tokoku A3C
 papersize=297mm x 420mm



3EPA/3EPA
 WWW.3EPA.PARTNER

3EPA/3EPA
 WWW.3EPA.PARTNER

福島原発事故の主要な時系列

- 3月11日 14:46 南相馬市で震度6弱を観測
- 15:35 津波到達（鹿島海岸 遡上高20.8m）
- 3月12日 5:44 福島第一原子力発電所から半径10km圏内の住民に避難指示
- 15:36 福島第一原子力発電所1号機水素爆発
原発事故の影響で物流業者が入らなくなり、ガソリンや生活必需品などの物資が十分に供給されない状況に陥った。
- 18:25 福島第一原子力発電所から半径20km圏内の住民に避難指示
小高区から原町区に避難（多くが石神地区避難所へ）
- 3月14日 11:01 福島第一原子力発電所3号機原子炉建屋水素爆発
- 18:22 福島第一原子力発電所2号機の冷却水が不足し、燃料棒が全露出
14日の余震と津波警報や水素爆発事故によって混乱が生じ、物資も不足がちとなり、15日以降、全市を対象とした市外避難を実施
- 3月15日
～17日 市がバスで市内の避難所から市外に避難を誘導（1,939人）
- 3月15日 6:00 福島第一原子力発電所2号機圧力抑制室付近で大きな衝撃音、4号機建屋の損壊
- 11:00 福島第一原子力発電所から半径20km以上30km圏内の住民に屋内退避の指示
- 3月16日 5:45 福島第一原子力発電所4号機北西付近より火災発生
- 8:34 福島第一原子力発電所3号機白煙が大きく噴出
- 3月18日
～20日 市がバスで集団避難を誘導（2,725人）
- 3月25日 市がバスで集団避難を誘導（142人）
- 4月21日 11:00 福島第一原子力発電所から半径20km圏内を警戒区域に指示（4月22日0:00 警戒区域に設定）
- 4月22日 9:44 福島第一原子力発電所から半径20km以上30km圏内に指示していた屋内への退避を解除、計画的避難区域及び緊急時避難準備区域を設定
- 7月21日 12:30 特定避難勧奨地点として57地点（59世帯）を設定
- 8月3日 12:00 特定避難勧奨地点として65地点（72世帯）を追加設定
- 9月30日 18:11 緊急時避難準備区域を解除
- 11月25日 10:00 特定避難勧奨地点として20地点（22世帯）を追加設定
- 平成24年
- 4月16日 0:00 警戒区域及び計画的避難区域を、避難指示解除準備区域、居住制限区域及び帰還困難区域に見直し
- 平成26年
- 12月28日 0:00 特定避難勧奨地点を解除
- 平成28年
- 7月12日 0:00 避難指示解除準備区域、居住制限区域を解除

2011. 3. 11 14:46発災

○南相馬市は震度6弱

・地震による家屋被害

全	壊	105世帯
大規模	半壊	91世帯
半	壊	956世帯
一部	損壊	2,527世帯

○津波到達と大きなダメージ

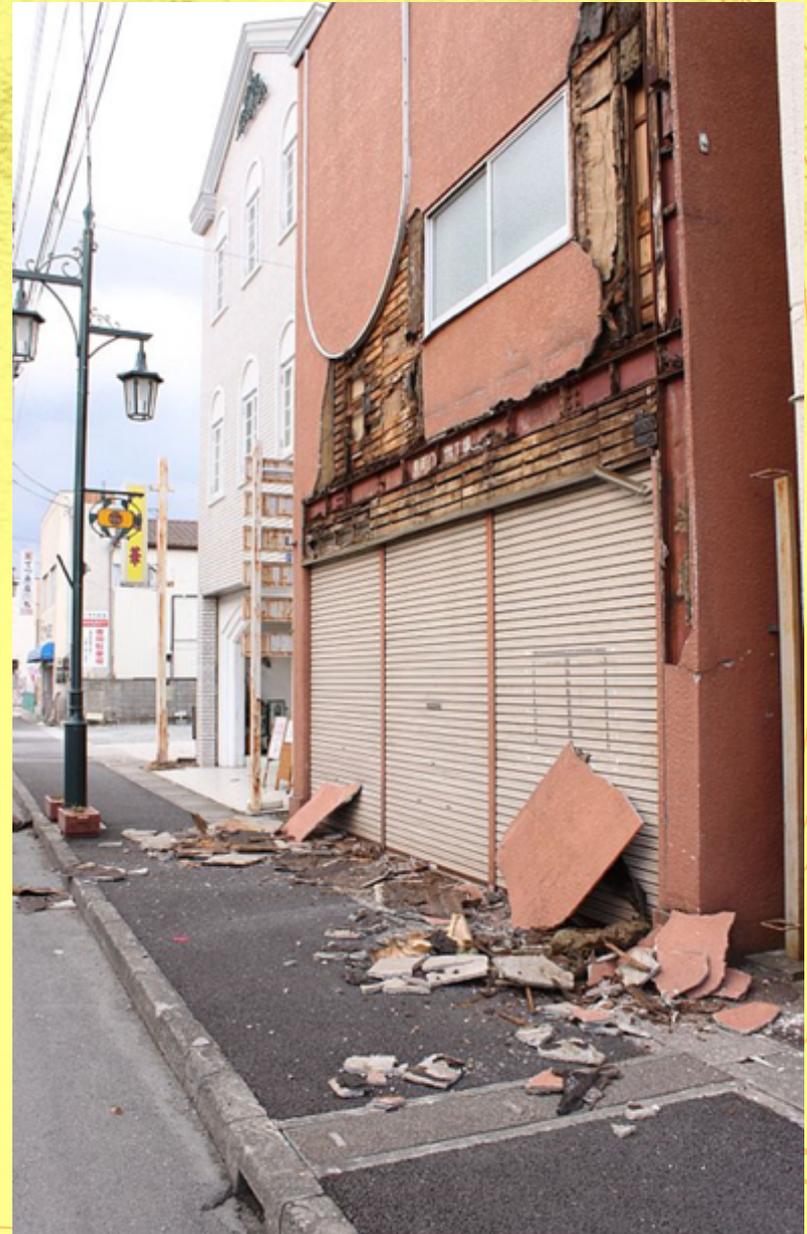
・死者 1,144人

(うち震災関連死 508人)

・津波による家屋被害

全	壊	1,165世帯
大規模	半壊	83世帯
半	壊	171世帯
一部	損壊	97世帯











被災した市民への対応

○避難所の開設

市内のあらゆる公共施設等約
40か所が避難所に



2011年12月末まで開設



市職員の勤務条件

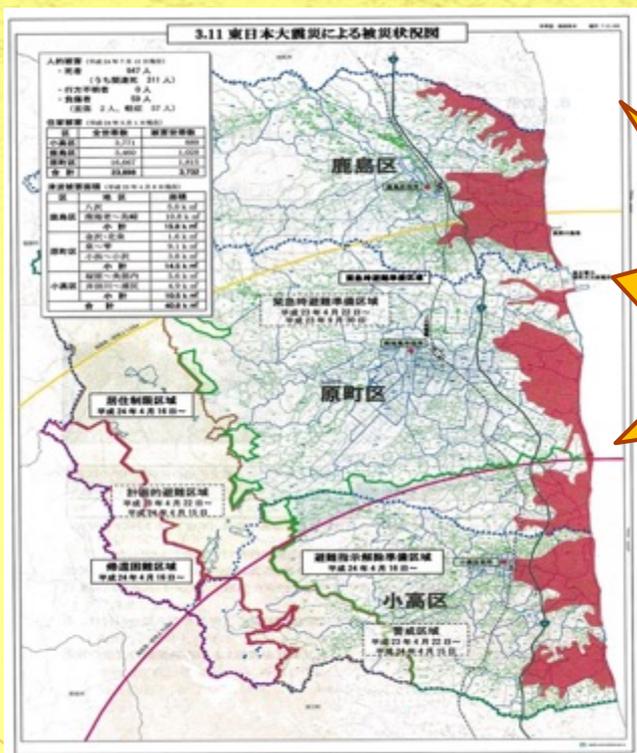
項目	震災前	震災後
勤務時間	8 : 30 ~ 17 : 15	7 : 00 ~ 19 : 00 ※所属長の判断で交代制で24時間勤務もあり
休み	週休2日(土日)	週休1日(交代制)

3月の人事異動は凍結！！

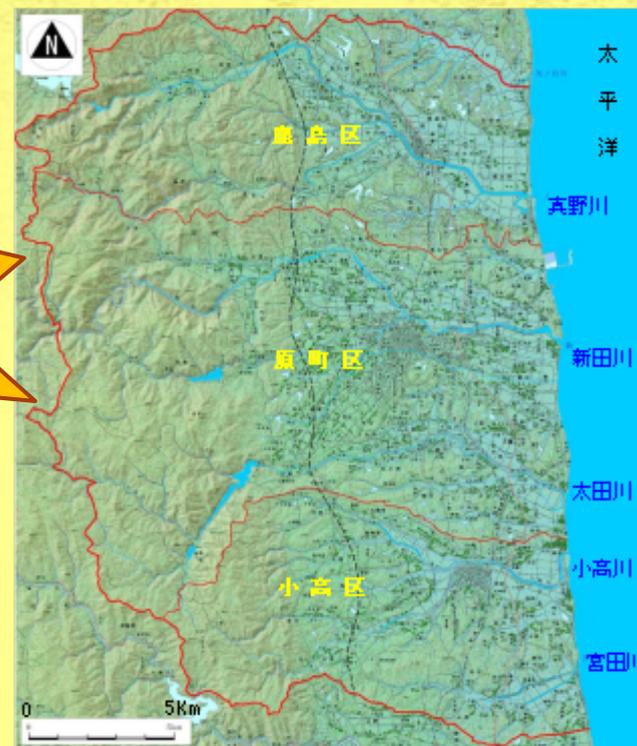
3月31日で定年退職予定だった職員は3か月間雇用延長！！

原発が爆発した！

3月12日	18:25	福島第一原発から半径20km圏内の住民に避難指示
3月15日	11:00	福島第一原発から半径20~30km圏内の住民は屋内退避の指示
4月21日	11:00	福島第一原発から半径20km圏内を警戒区域に指定
4月22日	9:44	福島第一原発から半径20~30km圏内の屋内退避を解除し、計画的避難区域及び緊急時避難準備区域を設定



奇しくも
合併前の3
市町の境と
ほぼ符合
合！！



- 原発からの距離（～20km、20～30km、30km～）によって、市内が3つの地域に分断されてしまった。

南相馬市

放射能という得体の知れないもの

見えない
臭いもない
事前の知識も全くない
原発の状態はテレビで知る

↓

不確かな
情報に右往
左往！！



市内の混乱

マスコミは避難
民間業者も避難
市民も徐々に自主避難



市内に食料やガソリン等物
資が入ってこなくなり、市
民生活はパニックに！



○市職員の役割

屋内退避のなか、り災証明発行のための被害家屋調査

離れ家畜の捕獲と殺処分

ガソリンの供給

身元不明遺体の火葬 等々 . . .

集団避難の決断

○3月15日～25日

市はバスで市民の集団避難（群馬県、新潟県、長野県）を誘導



約7万人の人口は約1万人にまで減少



様々な分断

市民の集団避難に伴い、
各職場から同行する職
員を募った。



行くも地獄・残るも地獄



**職場
の分断**

家族は避難させた。

しかし、自分は仕事の
ため残らなければ・・



市職員も被災者



**家族
の分断**

心の分断

○例えば義援金受付の場合・・・

マスコミから義援金支給のプレスリリース
(市役所には詳細な情報が届いていない)



市民からの問い合わせ

(当然市役所は知っていると思っている。)



わからないと答えると激しく叱責・・・

(市職員が市民のストレスの受け皿になっていた)

根底には地域の分断（原発からの距離）によって支援の程度に差ができ、市民が大きなストレスを負ってしまったことがある。→ 心の分断

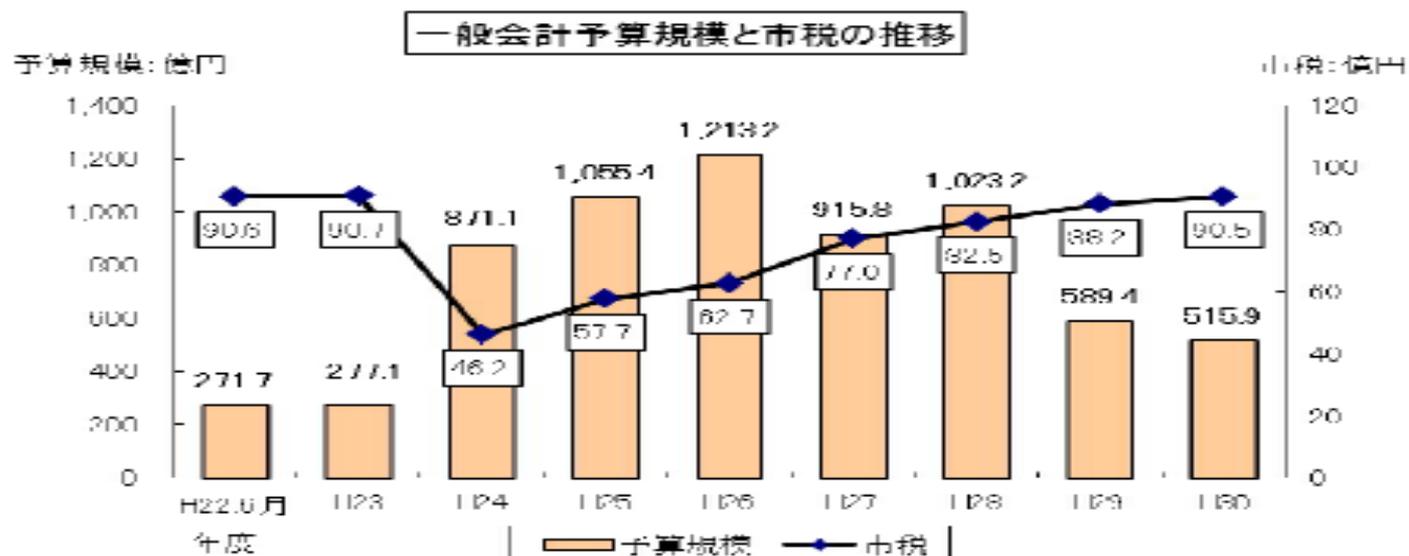
まだ続いている復旧・復興業務

(2) 当初予算の概要

① 予算規模

一般会計の予算規模は、515億9,249万3千円となった。

対前年度当初比 73億5,136万円減 (▲12.5%)



* 実質的な当初予算ベースとするため平成22年度は補正後としている。

職員（組合員）数の推移

組合員（労働組合に加入している職員）

2010年	754人	（震災前）	
2011年	669人	（震災前比	-85人）
2012年	683人	（震災前比	-71人）
2013年	722人	（震災前比	-32人）
2014年	752人	（震災前比	-2人）
2015年	748人	（震災前比	-6人）
2016年	759人	（震災前比	+5人）
2017年	788人	（震災前比	+34人）



震災前とほぼ同程度の人員で通常業務と復興業務をやっている！！

止まらない早期退職

19

○2012.2.25日（土）毎日新聞記事より

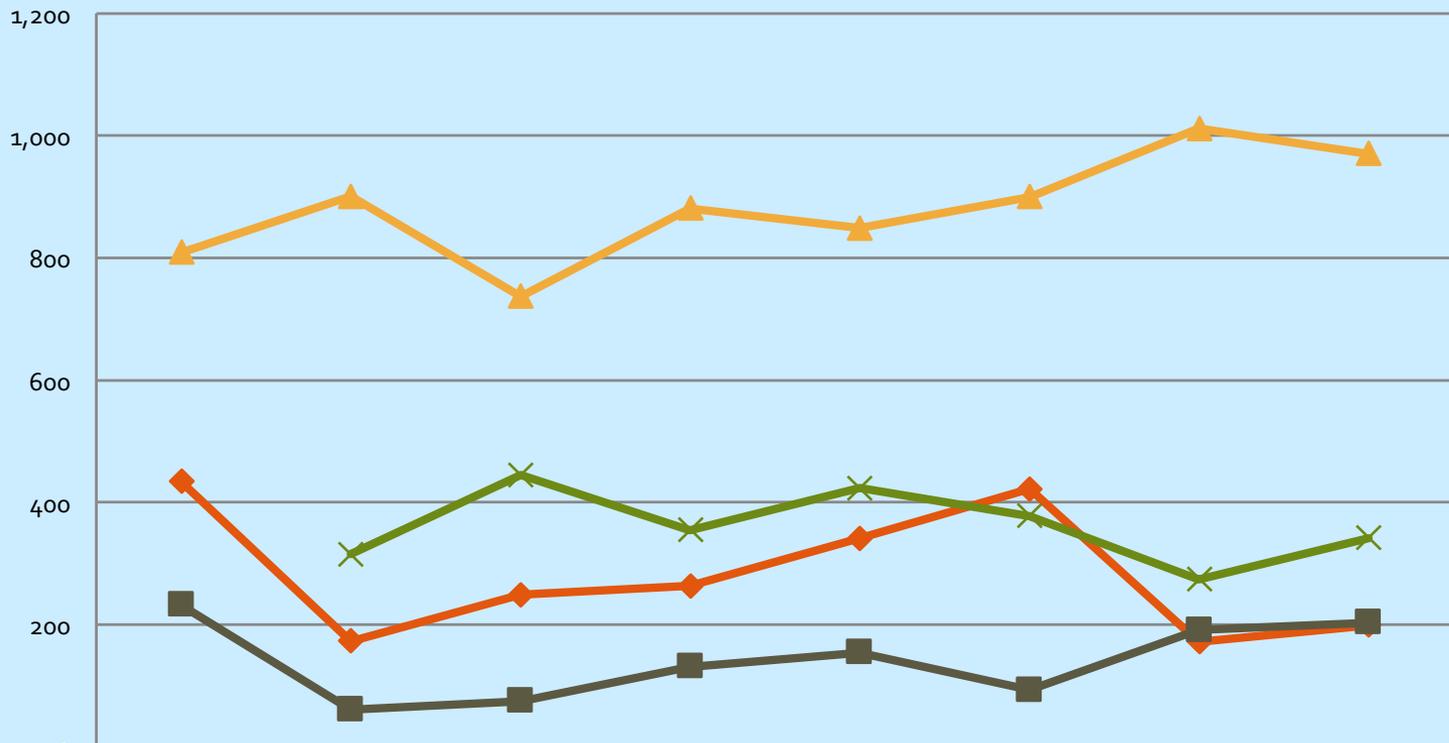
『南相馬市の早期退職者 1割を超える101人に』
今年度の市職員の早期退職者が、全職員の1割を超える101人に上ることが分かった。

市によると、前年度（21人）の約5倍。
看護師など医療職が68人、一般行政職では33人とのこと。

市長は、「職員に負担がかからない態勢を作る」と述べ、人員増を図る考えを明らかにしているという。

深刻なメンタル疾患・早期退職者（1）

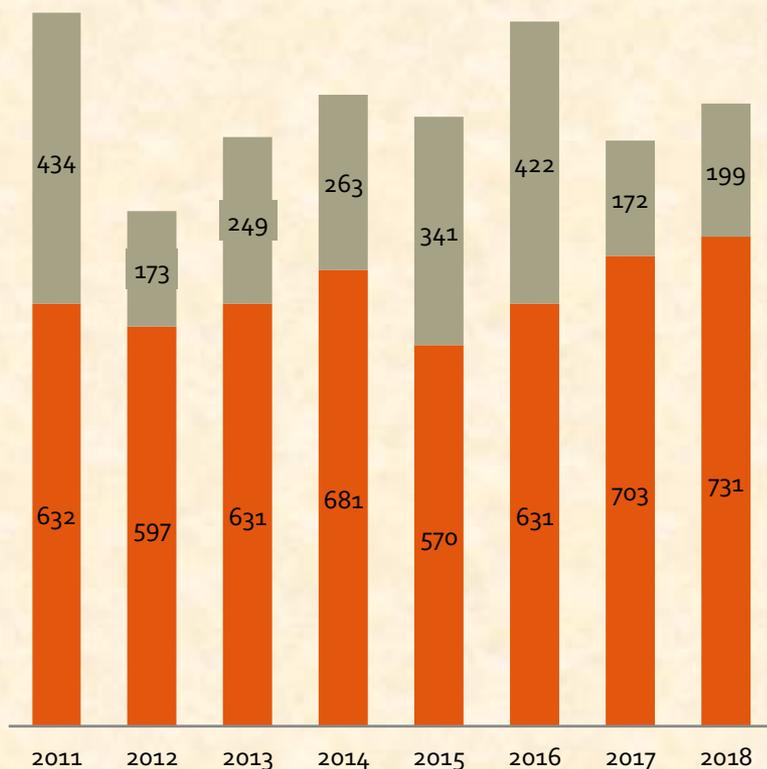
人
数



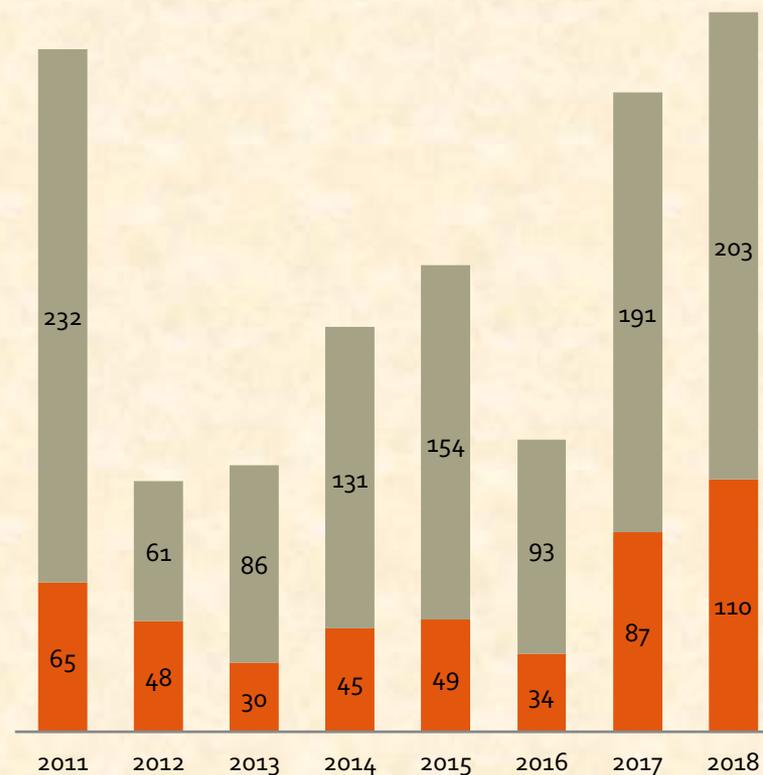
早期退職者	434	173	249	263	341	422	172	199
メンタル疾患休職者	232	61	75	131	154	93	191	203
新規採用者	809	901	737	881	849	900	1012	971
行政支援者		315	445	355	423	378	274	342

深刻化するメンタル疾患・早期退職者（2）

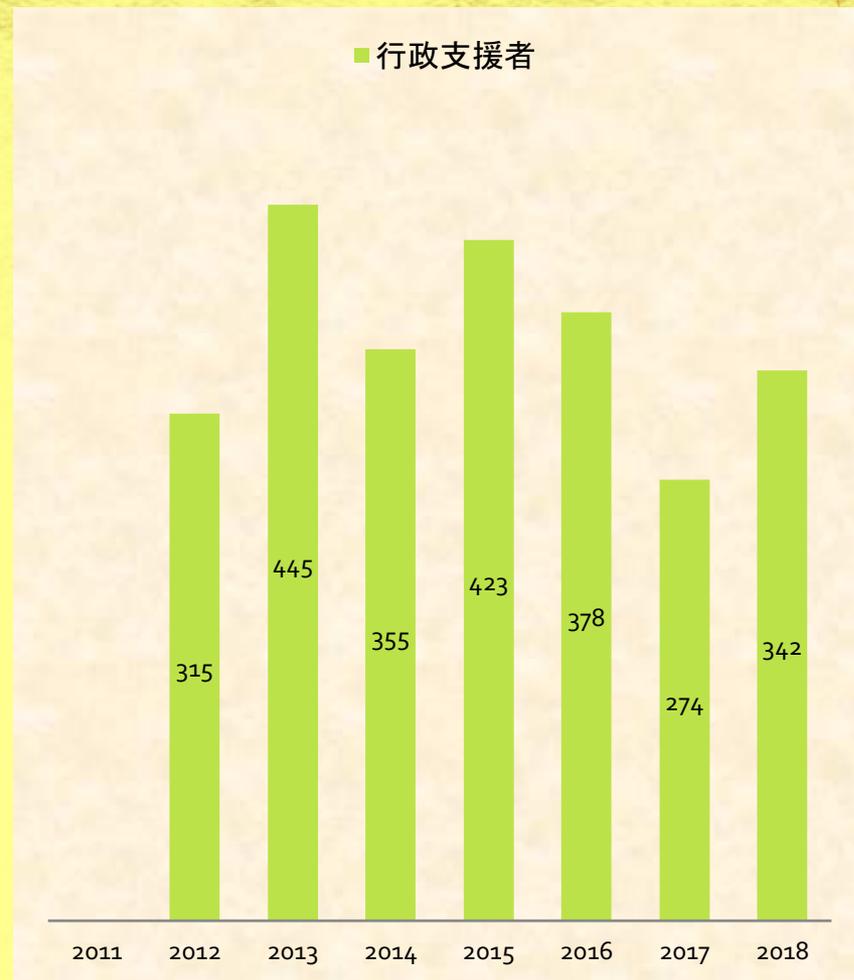
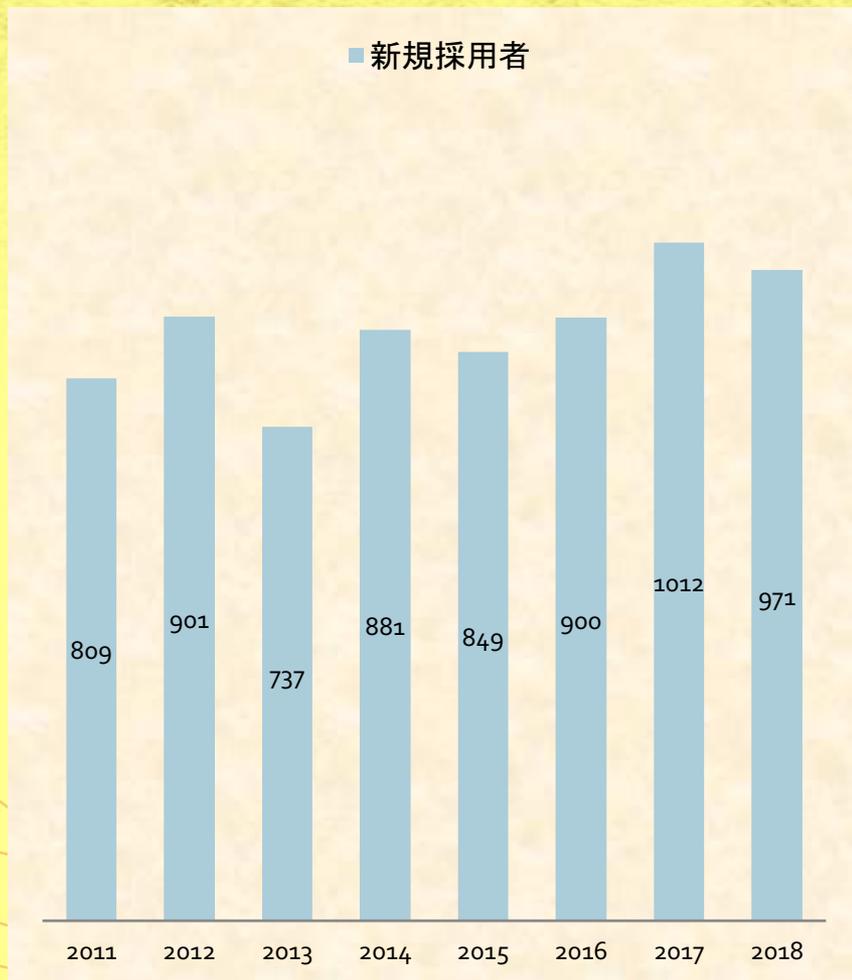
■退職者 ■早期退職者



■病気休職者 ■メンタル疾患休職者



深刻化するメンタル疾患・早期退職者（3）



そのとき労働組合は・・・

労働組合とは・・・

- 労働者の連帯組織であり、誠実な契約交渉の維持・賃上げ・雇用人数の増加・労働環境の向上などの共通目標達成を目的とする集団である。その最も一般的な目的は、「組合員の雇用を維持し改善すること」である。

公務員が組織する労働組合のひとつ



全日本自治団体労働組合
(自治労)



南相馬市職員労働組合

南相馬市職員労働組合の取り組み

震災の年度（2011年度）の主な取組

- 人員確保の取り組み
- 震災対応に係る勤務体制に対する取り組み
- 超過勤務手当支給に対する取り組み
- 職員の健康問題(メンタル含む)に対する取り組み
- 職員の県外避難所派遣に対する取り組み
- 病院職場を守る取り組み
- 自治労復興支援活動への取り組み



南相馬市の主な復興状況①

南相馬市復興事業等の主な進捗状況について (平成30年3月15日現在)

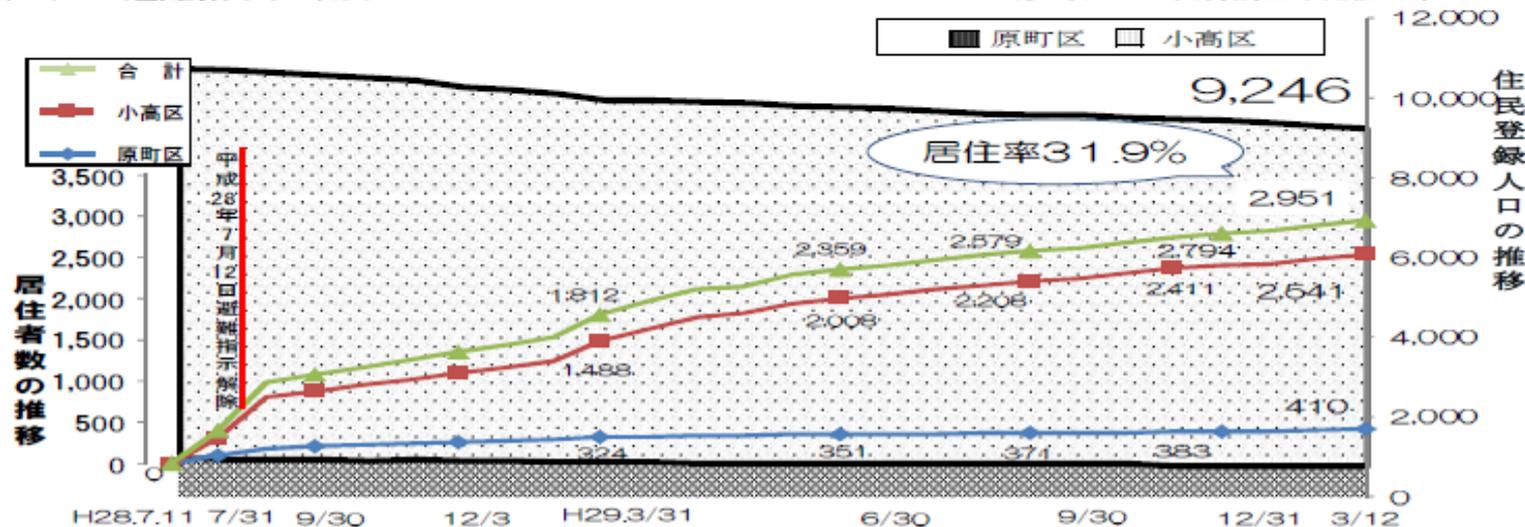
(1) 居住人口 (平成30年3月12日現在)

上段：() 世帯、下段：人口

住民登録状況 H23.3.11	住民登録状況 H30.3.12	市内居住状況				市外居住状況
		うち旧避難指 示区域内	旧 避 難 指 示 区	避 難 域	日避難指 示内 区 域 外	
(24,039) 71,561	(23,770) 61,228	(3,197) 9,246	(1,308) 2,951	31.9%	(20,647) 51,480	(1,815) 6,797

(2) 旧避難指示区域内

(参考) H27 国勢調査確定値 57,797 人



南相馬市の主な復興状況②

2 仮設住宅等の状況 (4月30日現在) (建築住宅課 報告より)

(1) 仮設住宅の状況

区分	戸数	前回(1/31)比	入居率(b/a)	戸数の内訳
仮設住宅 総数	3,300戸(a)	±0戸	11.3%	建設型仮設住宅3,140戸、市営住宅等160戸
入居戸数 総数	374戸(b)	-93戸		建設型仮設住宅360戸、市営住宅等14戸

【建設型仮設住宅の入居状況(内訳)】

区分	建設戸数(a)	入居戸数(b)	前回(1/31)比	入居率(b/a)	
市内	鹿島区	2,143戸	188戸	-51戸	8.8%
	原町区	640戸	172戸	-33戸	26.9%
市外	相馬市	254戸	0戸	±0戸	0.0%
	新地町	103戸	0戸	-4戸	0.0%
合計	3,140戸	360戸	-88戸	11.5%	

※市内建設型仮設住宅のうち市外避難者の入居戸数等(前回(1/31)比) : 23戸(-8)、28名(-11)

※上記のうち目的外使用戸数等(前回(1/31)比) : 0戸(-6)、0名(-6)

※新地町分は新地町で管理

【市営住宅等の入居状況(内訳)】

区分	利用戸数(a)	入居戸数(b)	前回(1/31)比	入居率(b/a)
鹿島区	41戸	2戸	-2戸	4.9%
原町区	41戸	0戸	-1戸	0.0%
北長野雇用促進住宅	78戸	12戸	-2戸	15.4%
合計	160戸	14戸	-5戸	8.8%

【変化要因等】

- 避難者の自主再建により退去が進んでいるため。

(2) 民間借上住宅の状況

区分	件数	前回(1/31)比	件数の内訳
受付件数	5,252件	+1件	うち原町区内1,459件(±0件)

南相馬市の主な復興状況③

放射線物質対策の推進

12 除染実施区域の除染事業（環境回復推進課）

- ◆事業概要： 市除染実施計画に基づき、市内において除染を実施し放射線量の低減に資する。
- ◆完了 計画に基づく一通りの除染は、平成 29 年 3 月末に概ね完了。
- ◆進 捗： 除染実施率（平成 30 年 1 月 31 日現在）

区分	対象数量※1	実績数量	実施率	備考
宅地	18,678 件	18,678 件	100%	H29. 11 月完了
フォローアップ除染※2	130 件	130 件	100%	H29. 9 月完了
農地	3,899ha	3,899ha	100%	H29. 3 月完了
道路	912.8km	912.8km	100%	H28. 11 月完了

※1 辞退等を除く。

※2 フォローアップ除染については、事後モニタリング等の結果を踏まえ環境省と協議を行い、実施する。

13 除染特別地域の除染事業（環境省）

- ◆事業概要： 環境省は、特別地域内除染実施計画（南相馬市）に基づき、旧警戒区域及び旧計画的避難区域において除染を実施し、放射線量の低減に資する。
- ◆完了 計画に基づく一通りの除染は、平成 29 年 3 月末に概ね完了。
- ◆進 捗： 除染実施率（平成 29 年 3 月 31 日現在）

※フォローアップ除染については 2 月 28 日現在

区分	対象数量※1	実績数量	実施率
宅地	4,500 件	4,500 件	100%
フォローアップ除染	433 件	425 件	98.2%
農地	1,600ha	1,600ha	100%
道路	270ha	270ha	100%
森林	1,300ha	1,300ha	100%

最後まで残るのは放射線対策

○主な放射線対策

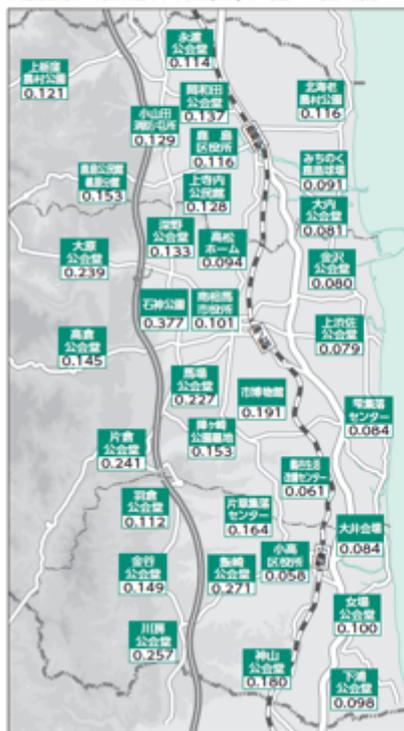
- ・ 内部被ばく検診
(ホールボディカウンター)
- ・ ガラスバッジ貸与
- ・ 簡易線量計の配布
- ・ 食品放射線検査
- ・ 空間線量モニタリング
- ・ 大気浮遊じんモニタリング



市民の健康不安を取り除く明確な答えがないため、市は可能な限りデータを集め、公表し、安全かどうかは個人の判断にゆだねるしかない！

環境放射線モニタリング結果

問合せ 生活環境課 ☎5 2 3 1
市内の空間放射線量率を掲載しています。
※測定日時：4月20日正午、単位はμSv/h、地上1m地点で測定



※市内約270カ所の測定結果が原子力規制委員会ホームページで公開されています。

避難指示区域などの人口

問合せ 被災者支援・定住推進課 ☎5 2 2 3
【平成30年4月12日現在】 (人)

区域名	住民登録	市内居住状況	避難指示区域外
旧避難指示区域内	9,203	3,116	2,460
旧避難指示区域外	50,908	10	47,896
合計	60,111	3,126	50,356

住民登録状況は住民基本台帳、居住状況は避難者情報を基に算出しています。

大気浮遊じんモニタリング結果

問合せ 生活環境課 ☎5 2 3 1
ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を確認するため、市内10地点で収集した大気1mあたりの大気放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点	セクム	放射線濃度 (mBq/m ³)		
		4/4~4/11	3/28~4/4	4/4
小島区	川房公会堂(川房)	134	不検出	不検出
	金岡小学校(原崎)	137	0.068	0.110
原町区	原町公会堂(原町)	134	不検出	不検出
	原町公会堂(原町)	137	0.039	0.053
原町区	原町公会堂(原町)	134	不検出	不検出
	原町公会堂(原町)	137	0.036	0.045
原町区	原町公会堂(原町)	134	不検出	不検出
	原町公会堂(原町)	137	0.044	0.028
原町区	原町公会堂(原町)	134	不検出	不検出
	原町公会堂(原町)	137	0.081	0.030
原町区	原町公会堂(原町)	134	不検出	不検出
	原町公会堂(原町)	137	0.058	0.073
原町区	原町公会堂(原町)	134	不検出	不検出
	原町公会堂(原町)	137	0.028	0.037
原町区	原町公会堂(原町)	134	不検出	不検出
	原町公会堂(原町)	137	0.052	0.055
原町区	原町公会堂(原町)	134	不検出	不検出
	原町公会堂(原町)	137	0.031	0.042
原町区	原町公会堂(原町)	134	不検出	不検出
	原町公会堂(原町)	137	0.050	0.071

※「不検出」とは検出限界値未満を示します。検出限界値はおおむね0.02~0.03 mBq/m³です。

波濤正己京都大学名誉教授 (市放射線対策委員会委員)による解説

今回の市内の大気浮遊じんからは、放射線セシウム134が観測されず、放射性セシウム137は平均0.04mBq/m³と低い値でした。
成人が1日に体内に取り込む空気量は約15 m³です。今回の濃度の放射性セシウムを全て取り込んだとしても、総量は約0.72mBqです。人が1日の食事で取り込む放射線量(約130Bq)に遠く及ばず、健康への影響を心配する必要はありません。

水道水のモニタリング結果

問合せ 原島区/相馬地方広域水道企業団 ☎10 20
小島区・原町区/水道課 ☎3 5 4 7
(単位: Bq/kg)

対象施設	検査日		
	4月23日	4月20日	4月18日
小島区	第1浄水場	不検出	不検出
	第2浄水場		
	小島北部浄水場		
原町区	大谷浄水場	不検出	不検出
	矢川原浄水場		
原島区	大野台浄水場	不検出	不検出
	原島第2水源池		

※「不検出」とは検出限界値未満を示します。検出限界値はおおむね1Bq/kgです。

復興の加速化と新たな問題

- 震災の風化と風評被害
- 住民の「こころ」の復興
- 止まらない人口減少
- 地域の働き手・担い手不足
- 伝統・文化・自然の継承
- 荒れる土地（農地等）
- 増える有害鳥獣
- 復興事業終了後の地域経済の衰退
- . . . 等々



















おわりに



相馬野馬追祭（世界最大の馬事祭り）
7月28日（土）、29日（日）、30日（月）

是非、福島県・南相馬市にお越し
下さい。

被災地では、皆さんの若い力が
必要！

ご清聴ありがとうございました。